

温室、ビニールハウスの暴風・台風対策

神奈川県農業共済組合

最近は大きな台風の襲来もなく、園芸施設の被害も少ない状況です。しかし、災害は忘れた頃に遣って来ると言われるように、油断禁物です。

台風シーズンを前に台風等の襲来が予想された場合には暴風・台風対策を徹底して、被害を出来る限り防ぎましょう。また、もしもの時に備えてNOSA Iの園芸施設共済に加入しておきましょう。

- 1 天窓・側窓などは風の吹上げに備えて、閉め具で確実に締め、隙間風の入らないようにする。
- 2 天窓開閉機は必ず確実に閉め、出来るならば網などで天窓が吹き上げられない様に、対策を講じる。天窓部の端はひもなどで固定しておく。
- 3 強風時には、必要に応じて補助支柱を入れる。
- 4 施設の周囲は、風による小石、木片などの飛来を防止するため、周囲の片付け、清掃を常に行ない、温室・ハウス内外に風で飛散する様な物は置かない。
- 5 フィルムは風により思わぬ被害が発生するので次の点に注意する。
フィルムは、シワ、たるみがないように張ってあるか確認する。
ハウスバンドはゆるみがないように張ってあるか。スソを埋設するかして止める。
風の強い地域では、妻面が破れやすいので補強する。更に暴風ネットでフィルムの上を覆ったり、暴風ネットをハウスの周辺に設置したりする。
- 6 出入口、窓の鍵を点検し、外気を遮断する。
- 7 被覆資材の強風によるあおられ防止のため、取付け金具の緊張、押さえひもの固定、両妻面の補強、暴風ネットの被覆などの点検整備をしておく。

- 8 筋違い、補強支柱などの臨時の補強材はあらかじめ準備しておき（間伐材の活用等）、気象情報により取付ける。これらの補強材の取付け方法は常日頃からきちんと定めておく。
- 9 風に対して、被覆材の破損や剥離による風の吹き込みによる大被害を防止するために速やかな応急処置に対応できるようにしておく。
- 10 非常時のロープやワイヤーも忘れずに用意しておく。
- 11 強風の直後は、被覆材の破損、とめ具の緩み、窓の開閉装置の異常、構造体のボルトの緩みなどの有無を点検し、破損、ゆるみ、異常等があれば速やかに補修する。

（参考資料 J A全農 生産資材部 温室・ハウス保守管理の手引きより）



頼りになります。応援します。

N O S A I の園芸施設共済

加入の特典

ポイント1

掛金の2分の1は国（限度あり）が負担します。

ポイント2

事故が無い場合や、少なかった場合には掛金の一部が、無事戻し金として戻ります。

ポイント3

掛金は所得から控除され、節税になります。

加入できるのは

ハウス本体・・・ガラス温室、ビニールハウスなど。

附帯施設・・・暖房施設、自動制御施設、養液栽培施設など

施設内農作物・・・施設内で栽培されている野菜、花などの農作物。

- * 施設内農作物は、すべての事故に対して補償する 一般方式 病害虫の補償を対象としない 病虫害事故除外方式（掛金が一般方式より安くなります。）の2種類から選択することができます。